決算等審査特別委員会

委員長　柿沼敏万
副委員長　佐藤和子

本委員会は、議会選出の監査委員を除く全議員で構成され、委員は所属会派の議員数に応じた持ち時間内で、各分科会および全体会で一問一答形式で質疑を行います。

委員会は、9月26日から8日間開催され、延べ82人の委員が37時間にわたり審査を行いました。

主な質疑と答弁の要旨等を会派ごとに掲載します。

※会派名は質疑をした時点のものです。

自由民主党

佐々木　心　委員

問　（仮称）青葉障害者福祉センター建設について、地域の方々や障害者団体等と連携して進めることを求める。

答　地域住民や障害者団体等の意見やアイデアを、基本構想に反映していきたい。

○障害者就労支援への理解促発と障害者雇用の改善策を

わたなべ　拓　委員

問　中学校道徳教科書には国や郷土を愛する態度、国際理解に資するものを。

答　調査研究を行い、適正かつ公正な採択に努めたい。

○明治維新150年記念に奥羽越列藩同盟シンポジウムを

○公園センターを本市産木材で

○市長は拉致問題認識を改めよ

菅原　正和　委員

問　交通指導隊員確保のため出動日や出動時間を柔軟に。

答　隊員の方々と慎重に議論しながら、どのような見直しが隊員確保につながるか検討したい。

○交通指導隊の被服の統一と任務中のJアラートへの対応

○WEスクール事業の見直し

松本　由男　委員

問　Jアラートと津波情報伝達システムの屋外拡声装置79個を連接してはどうか。

答　技術的に可能であり運用方法なども検討していきたい。

○地域防災マネージャー増員等による危機管理の体制整備

○市立病院へリポートでの訓練を計画的に実施すべき

菊地　崇良　委員

問　大気圏外で核ミサイルを爆発させる電磁パルス攻撃を含め、ミサイル発射の脅威に対する認識は。

答　電磁パルス攻撃により停電や電子機器の破壊など社会生活がまひすると言われており、必要な対応を取っていく。

やしろ　美香　委員

問　教職員の多忙化解消を目指す校務支援システム導入は教育の質の向上につながる。導入に当たっては業務の見直しを含め十分な検証を。

答　職員アンケートを実施し検証を行いながら、効果的な使用方法の検討を進めたい。

○ICT教育の環境整備

加藤　和彦　委員

問　仙台特区は今後どのような活用を行っていくのか。

答　新たな特区メニューを提案しながらイノベーションを創出し、仙台発となる取り組みを発信していきたい。

○道路法の特例によるイベント開催によりにぎわい創出を

○特区活用の市民への発信を

跡部　薫　委員

○平成28年度決算の概要と地方財政を取り巻く状況

○歳入確保には戦略的視点を

○発達障害等の未就学児への早期支援と幼保小の連携

○幼稚園への幼児教育施設運営費補助金等の増額を

○幼稚園の認定こども園への移行が進まない課題と対応

橋本　啓一　委員

○仙台市西部地区の振興策は、観光だけでなく、まちづくりと整合を図りながら取り組むべき

○バス路線再編への地域要望

○宮城交通バス値上げの影響

○イクスカの身分証等への活用促進と電子マネー機能付加

○ごみ減量推進を強化すべき

○ごみ出し困難者への支援

庄司　俊充　委員

問　関東・東北豪雨の被害の復旧状況と、残る被災箇所の完了見込みについて伺う。

答　農地・農業用施設は21箇所が復旧未了であり、年度内完了を目標に努力していく。

○耕作困難農地の営農者対応

○被災により耕作が放棄されつつある農地を市民農園として活用し地域の活性化を

野田　譲　委員

問　海岸公園野球場は植栽計画を見直し、選手のウォーミングアップの場所確保を。

答　利用者の声を踏まえ植栽見直しなど改善を図りたい。

問　都市計画道路宮沢根白石線浦田工区の進捗状況は。

答　進捗率は約80％。本線は平成30年度下半期に完成予定。

○浦田工区南側の早期整備を

西澤　啓文　委員

問　通称・中江踏切は北四番丁岩切線に渋滞や歩行者滞留を多く発生させている。早期の高架化等、対策を講ずべき。

答　中江踏切は交通量が多く、将来的には立体交差化が必要。道路側を鉄道の上にたがせるなど、鉄道高架化以外の手法も含め、鉄道事業者と総合的に比較検討していきたい。

鈴木　勇治　委員

問　県と本市の調整すべき課題の解決に向け、知事と向き合う市長のスタンスを伺う。

答　対話と協力を基本に良好な関係を築いていきたい。

○夫婦別居時の小中学生の転校手続きと教育委員会への付議

○医療情報の収集と倫理規定

○救急業務と医療機関との連携

○県の上工下水一体運営民営化の検討に向けた本市の対応

佐藤　正昭　委員

問　Kobooパーク宮城で本市中高生がもっと試合ができるよう、楽天野球団への強い働きかけを求める。

答　さまざまな課題はあるが、次の時代の野球文化を担う子どもたちへの機会の提供等について、関係機関とも連携しながら、楽天野球団に対しも求めていきたい。

子どもたちの憧れる球場、Kobo パーク宮城

○都市計画道路は工区ごとの整備ではなく、始点から終点まで一気に整備すべき

○JR貨物駅の岩切地区移転に伴う周辺道路整備では、地域の声を踏まえ、JR貨物や県と協議し、より良い道路を造るべき

○通称・中江踏切の渋滞解消に向けた取り組みを

渡辺　博　委員

○国家戦略特区活用について、事業者の積極的参加を促す取り組みを求める

○城下町仙台の視点で日本伝統文化を生かしたまちづくりを

○次期総合計画策定は、市民の声を生かす体制の下で

○都心の人口集中に適切に対応した救急体制を

○市立病院で先進医療の実施を討も含め、取り組みを進める。

○指導困難学級について

○24時間いじめ相談電話の周知

○高校での通級指導を進めよ

○小規模校におけるインターネットテレビ電話を利用した交流学習の実施について

○読み書きに困難さがある発達障がい児童生徒への学習支援

子どもの声を受け止める公的第三者機関川西市子どもの人権オンブズパーソン

○バス路線恵和町線の延伸

全体会の主な質疑項目

問　公立保育所の民営化について、市長の評価を伺う。

答　安全・快適な環境確保や新たな保育サービスの提供、必要に応じた定員増が図られた。

問　新入学学用品費の前倒し支給を来年3月から実施を。

答　実施に向けた課題を解決すべく、さらに検討を深める。

東西線バスのりつぎ時刻表」

公明党

分科会の主な質疑項目

〈危機管理室・総務局・財政局・まちづくり政策局〉

○ゲリラ豪雨対策と排水ポンプ車の配備について

〈健康福祉局・子供未来局〉

○動物との共生に向け地域猫活動等の支援のため策定したガイドラインの活用状況

○補助犬理解を深める取り組み

○小規模保育事業の保育従事者配置基準の緩和

○増員保育士助成を小規模保育事業にも導入すべき

○保育士宿舎の借り上げ支援

〈市立病院〉

○患者サービス向上について

〈市民局・消防局〉

○空き家対策について

○コミュニティ・センターや休日夜間の緊急時に使用可能なコンビニへAED設置推進を

〈教育局〉

問　子どもたちが相談の声を発信しやすい環境づくりを。

答　第三者機関等設置の検討も含め、取り組みを進める。

○指導困難学級について

○24時間いじめ相談電話の周知

○高校での通級指導を進めよ

○小規模校におけるインターネットテレビ電話を利用した交流学習の実施について

○読み書きに困難さがある発達障がい児童生徒への学習支援

〈環境局〉

問　熱エネルギー有効活用補助事業の二酸化炭素削減効果および経済効果を伺う。

答　年間約200トンの削減を見込み、リフォーム工事等により経済効果もあると考える。

〈経済局・文化観光局・農業委員会〉

○人口減少社会に向け大きな財源確保になるインバウンドの取り組みについて、目標設定と進捗確認を

〈都市整備局・建設局〉

○市営住宅が果たしてきた役割

○計画的な大規模団地再整備を

○市営住宅におけるバリアフリー整備、エレベーター設置、高齢世帯への見守り支援

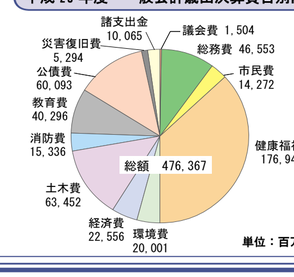
○団地内コミュニティの活性化と入居者相談窓口の一元化

○仙台駅西口駅前広場のバリアフリー整備を進めよ

○上下移動せず乗車できるバス停設置等、仙台駅周辺のバス乗降の環境整備を

〈交通局〉

○「どこバス仙台」と「地下鉄



平成28年度　一般会計歳出決算費目別内訳

平成28年度　一般会計決算の収支状況

単位：百万円

予算現額		532,790
歳入決算額	A	488,638
歳出決算額	B	476,367
歳入歳出差引額	C=A−B	12,271
翌年度へ繰り越すべき財源	D	9,015
実質収支額	E=C−D	3,256

市民フォーラム仙台

佐藤　わか子　委員

問　不登校対策としての予防・早期介入の取り組みを伺う。

答　不登校の組織的な未然防止対策の推進を図っている。

○復興公営住宅での孤立防止

○公共施設は民間の力を導入し経営的視点で有効活用を

○コミュニティソーシャルワーカーの各地域への拡大

○企業主導型保育事業の拡充を

○いじめ防止に地域の目を

村上　かずひこ　委員

問　国は卸売市場法を見直し合理的理由のない規制を廃止する方向だが、今後も市場機能を維持し公正な取引が行われるよう設置者として国へ申し入れるべき。

答　中央卸売市場は適正価格の形成、消費者への食料供給という重要機能を果たしており、関係者と連携協議し対応する。

公共施設は経営的視点で有効活用を（写真は仙台市文学館常設展示室）

渡辺　敬信　委員

○中小企業の人材不足への対応

○銀杏町の桜の木の新たな観光資源としての可能性

○道路側溝を機能させ安全安心な市民生活を守るために、側溝清掃をシステム化せよ

○放置自転車ワーストエリアへの路上駐輪場整備を

平井　みどり　委員

問　消防団員の退職報償金掛金算定の基礎である団員定数を実員数に合わせ見直しを。

答　地域の防災力維持に消防団員の役割は重要。定数に達するよう団員確保を図る。

○「家庭学習ノート仙台」の活用成果と家庭での取り組み方

沼沢　しんや　委員

○仙台市交通指導隊の隊員募集について、PTAや退職した市職員へ周知を

○フリースクールについて

・学校以外の学びの場との連携を密にすべき

・仙台市版・民間施設ガイドライン見直しの必要性

伊藤　ゆうた　委員

○たばこ政策について

・「防煙・禁煙・分煙のまちづくり」に関する事業の取り組みと成果、課題

・飲食店の受動喫煙防止宣言登録施設数の増加に向けインセンティブを

・公園の禁煙化を進めよ

日本共産党

ふるくぼ　和子　委員

問　就学援助制度の入学準備金は文科省の通知どおりに小中学校入学前支給とすべき。また、修学旅行費についても実施前支給とし、費用の心配なく参加できるよう改善を。

答　入学前支給は実施済みの他政令市を参考に検討している。修学旅行の対象経費は直接必要な交通費や宿泊費等のため実績に基づいた支給が望ましい。

高見　のり子　委員

○JR貨物駅の岩切地区移転に伴う渋滞等環境悪化の問題解決と住民説明会の複数箇所開催を県とJR貨物へ求めよ

○市道認定と市道にふさわしい道路にする工事は区役所任せにせず認定と同時に行うべき

○「鶴ケ谷みんなのひろば」に公衆トイレを設置すべき

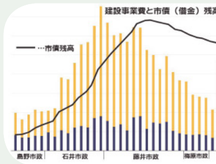
問　福祉予算が増えることで市債（借金）は増えるのか伺う。

答　直接的に市債残高の増加につながるものではない。

○コミュニティ・センター等市民利用施設の修繕費増額を

○教員の時間外在校時間は年々増加。多忙化解消を進めよ。

○35人以下学級拡充は十分可能



建設事業費の増加に伴い増えている市債残高

庄司　あかり　委員

○公立保育所廃止民営化で保護者の負担の増加や子どものけがが起きている。保護者の不安を真摯に受け止めよ。

○民営化した公立保育所の定員数は1213人。公立を維持しながら民間に整備すれば待機児童は解消できた。

○3歳以上児の主食代に補助を

嵯峨　サダ子　委員

問　地下鉄職務員の労働強化になっている24時間反復勤務形態の改善、各駅2人の駅務員体制の強化・拡充をすべき。

答　実態を確認した上で、労働組合と協議を重ね、駅務員の安全面・衛生面の確保について努力していきたい。

ふなやま　由美　委員

○国保会計は30億円の黒字だ。負担率が18％に上るほど高過ぎる保険料を引き下げよ。

○国保の都道府県単位化後も市の独自減免の継続と一般会計独自繰り入れで保険料軽減を

○国保法第44条の柔軟な運用を

社民党

相沢　和紀　委員

問　小・中学校の屋内運動場の老朽化への対応と床沈下が大きい六郷中学校の対策を伺う。

答　公共施設総合マネジメントプランの方針に沿った計画の中で対応を検討したい。

○消防局六郷分署の工事契約の分析と開署による運用効果

○校庭の暗渠（あんきょ）排水設備の整備

○市中心部の渋滞解消策提案

石川　建治　委員

問　生ごみ減量の実践に向けた取り組みを伺う。

答　モッタイナイキッチンで食材を使い切るレシピ、ワケルネットで動画による生ごみの水切り方法の紹介をしている。

○ごみ減量・リサイクル推進

○観光客等交流人口の拡大策

○地下鉄南北線の車両検査周期の延伸に伴う安全性確保

問　障害者差別解消条例は市民の認知度が低いと考える。認知度を高める方策を伺う。

答　各種イベントでの啓発、市民協働によるPR事業の実施などの取り組みを進めている。

○震災復興メモリアル事業

○障害者の就労支援対策の強化

○障害者の自立促進のためにグループホームの拡充を

小山　勇朗　委員

○平成28年度末の市債残高は、約7731億円。その中でも臨時財政対策債は増え続けている。市債残高の縮減対策を。

○市税の収入未済額の低減

○債権管理推進会議について

○保育料の収納対策

○認定こども園の職員に対する時間外手当不支給問題

○待機児童解消への取り組み

辻　隆一　委員

答　あらゆる分野に市民協働の理念を生かし、未来に向けたまちづくりに挑戦していく。

○重点事業の自己評価が自己満足評価に陥らない視点を

○高齢者利用施設には使いやすい椅子とテーブルの配備を

○泉区役所の大規模改修工事

小野寺　健　委員

○ガス局関連会社社員の雇用環境、待遇の改善を求める。

○公園経営は民間との連携を加速させるなど意識改革を。

○七北田公園など一定規模の公園トイレの洋式化の事業化を。

加藤　けんいち　委員

○地方創生交付金対象事業の地元企業発注率向上のため、契約手法の工夫、検討を

○エコモデルタウン事業は経済性など総合的な視点で評価を

○職員定数と労働時間の管理

市民ファースト仙台

柳橋　邦彦　委員

問　「週末仙台」は非常に秀逸なキャッチフレーズの情報誌だ。許求効果の評価を伺う。

答　首都圏の主要商業施設等で配布し、本市の認知度、イメージ向上に大いに成果があったものと認識している。

木村　勝好　委員

問　本市バス事業の再建に向け市長はどう取り組むか。

答　パーソントリップ調査等の結果も踏まえ、市民の生活を支える持続的な交通の確保に、鋭意努力を重ねる。

○富谷市・名取市への地下鉄南北線延伸の困難さ

○仙台城大手門等の復元と市内の藩政時代の建物の有効活用

安孫子　雅浩　委員

問　次期総合計画の策定に向けた市長の基本認識を伺う。

答　あらゆる分野に市民協働の理念を生かし、未来に向けたまちづくりに挑戦していく。

○重点事業の自己評価が自己満足評価に陥らない視点を

○高齢者利用施設には使いやすい椅子とテーブルの配備を

○泉区役所の大規模改修工事

小野寺　健　委員

○ガス局関連会社社員の雇用環境、待遇の改善を求める。

○公園経営は民間との連携を加速させるなど意識改革を。

○七北田公園など一定規模の公園トイレの洋式化の事業化を。

加藤　けんいち　委員

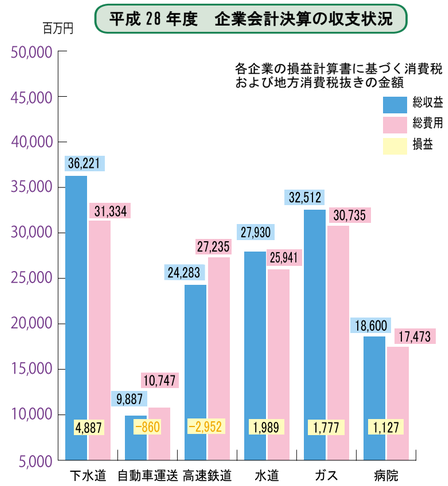
○地方創生交付金対象事業の地元企業発注率向上のため、契約手法の工夫、検討を

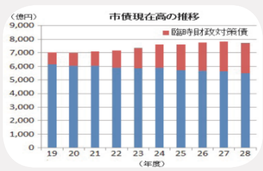
○エコモデルタウン事業は経済性など総合的な視点で評価を

○職員定数と労働時間の管理

個人旅行者、特に20代後半から40代の女性向けの情報誌「週末仙台」

平成28年度　企業会計決算の収支状況





増え続ける臨時財政対策債、市民1人当たりの市債（借金）は74万2千円

平成28年度　特別会計決算の収支状況

単位：百万円

会計名	歳入	歳出	差引額
都市改造事業	8,274	6,186	2,088
国民健康保険事業	110,114	107,095	3,019
中央卸売市場事業	2,595	2,595	0
公共用地先行取得事業	1,064	1,064	0
駐車場事業	291	288	3
公債管理	121,276	121,276	0
母子父子寡婦福祉資金貸付事業	339	172	167
新墓園事業	826	772	54
介護保険事業	67,580	65,616	1,964
後期高齢者医療事業	10,763	10,709	54
合計	323,122	315,773	7,349

市議会を傍聴してみませんか

市議会では、本会議や常任委員会等の会議を一般公開しています。傍聴をご希望の方は、会議当日に議会の受付でお申し込みください。

〈お申し込み・お問い合わせ〉
議会事務局庶務課
FAX TEL（214）6164
（265）9626